

# あきた 市議会だより

No.139

平成22年  
8月1日



ミュージカルの本番に向けて練習を頑張るぞ！（秋田市民おやこミュージカルを上演する会のみなさん）

6月定例会の概要 ..... 2～3P

可決した主な議案

請願・陳情の結果について

一般質問 ..... 4～6P

常任委員会の審査から ..... 7P

議会からのお知らせ ..... 8P

発行／秋田市議会

編集／あきた市議会だより編集委員会

〒010-8560 秋田市山王一丁目1番1号

電話 018(866)2233 FAX 018(865)7857

ホームページ <http://www.city.akita.akita.jp/council/>



市の家族・地域の絆づくり  
キャラクター「テッテ」

この冊子は、単価1部9.765円です

# 6月定例会の概要

6月定例会では、秋田市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する件などの条例案11件、単行案9件、補正予算案5件をすべて可決・承認しました。また、秋田市固定資産評価員の選任など人事案2件に同意しました。

## 主な議案

### 予算

#### 国の緊急雇用対策関係等事業

**VTR映像整理事業**  
VTRテープに収録された映像を、耐久性や保存性に優れた媒体に変換し、永続的な保存を図ります。

・補正額 2千79万2千円

#### 公有財産台帳整備経費

公有財産台帳管理システムを構築するため、土地情報と現況の確認等の準備作業を行います。

・補正額 142万8千円

#### 自立支援医療適用確認台帳整備経費

生活保護制度の医療扶助と介護扶助の適正化等を推進するため、自立支援医療適用確認台帳を作成します。

・補正額 144万6千円

**道路用地実態調査経費**  
市道の未登記箇所の実態調査と登記処理の準備を行います。

・補正額 227万7千円

#### 国・県補助等関連事業

**コミュニティ助成事業**  
コミュニティ活動を行う団体の備品整備および集会所建設に對し助成します。

・備品整備助成団体 楢山地区  
コミュニティセンター運営委員会ほか5団体

・集会所建設助成団体 新波自治会  
・補正額 2千340万円

#### 難聴児補聴器購入費助成事業

身体障害者手帳の交付対象とならない程度の難聴児に対し、補聴器の装用による言語の習得やコミュニケーション力の向上を促進するため、補聴器購入費用の一部を助成します。

・補正額 132万2千円

#### 老人福祉施設整備費補助金

既存の小規模多機能型居宅介護事業所のスプリンクラー整備に對し、工事費の一部を補助し

ます。  
・補正額 1千738万1千円

**児童福祉施設整備費補助金**  
保育所入所待機児童の解消を図るため、既存私立保育所の増設、新規私立保育所および分園創設に對する施設整備費を補助します。

・補正額 1億6千266万円

#### 新エネルギー利活用調査事業

市域の新エネルギー資源の賦存量および事業化の可能性について調査を行います。

・補正額 2千400万円

#### 電線共同溝整備事業

補助内示に伴い、道路改良および移設補償を行います。

・事業内容 秋田環状1号線、川尻広面線（川元工区）  
・補正額 1億8千643万円

#### 道路改良事業

補助内示に伴い、道路改良を行います。

・事業内容 鹿野戸安養寺線  
・補正額 1千600万円



秋田駅構内の秋田市観光案内所

#### 道路維持管理データベース作成経費

交通安全施設台帳や道路工事台帳等の市道の維持管理関係資料をデータベース化します。

・補正額 227万7千円

### 幹線道路整備事業

補助内示に伴い、道路工事を  
行います。

- ・ 割山南浜線（茨島工区）
- ・ 補正額 5千30万円

### 融雪施設改良事業

補助内示に伴い、耐用年数が  
経過し不具合が生じている勾配  
の急な坂道の融雪施設の改修を  
行います。

- ・ 事業内容 新屋松美町朝日町  
線、中央高校坂線
- ・ 補正額 9千124万円



中央高校坂線

### 千秋公園整備事業

補助内示に伴い、外堀ポケット  
パークの一部整備を行います。

- ・ 補正額 265万4千円

### 都市公園バリアフリー化事業

補助内示に伴い、山王帯状緑  
地の一部整備を行います。

- ・ 補正額 122万4千円

### 文化シンポジウム開催経費

秋田市文化シンポジウム「郷  
土の偉人石井露月を知る」を開  
催します。

- ・ 開催期日 22年11月25日（木）  
から11月28日（日）
- ・ 会場 秋田市文化会館
- ・ 内容 記念講演会、シンポジ  
ウム、石井露月名品展
- ・ 補正額 90万円

### その他の事業

母子寡婦福祉資金貸付金  
母子家庭および寡婦に対する  
修学資金などの貸付金を増額補  
正します。

- ・ 補正額 2千958万3千円

### 庁舎建設検討経費

基本構想作成業務委託などを  
実施します。

- ・ 補正額 4千233万5千円

### 動物園施設省エネ・グリーン化推進事業

大森山動物園の来園者に対し  
て温室効果ガス排出抑制啓発を  
図るため、休憩所屋根への太陽  
光パネル設置および動物舎の省  
エネ冷暖房設備に係る実施設計  
を行います。

- ・ 補正額 140万円

### 水田活用緊急支援事業

戸別所得補償モデル対策実施  
に伴い、国の助成水準が大幅に  
低下する大豆等の転作作物に対  
して、激変緩和対策として助成  
します。

- ・ 補正額 2千449万9千円

### 美術資料充実経費

千秋美術館において、秋田蘭  
画1点（田代忠国「菊と秋海棠  
図」）を購入します。

- ・ 補正額 400万円

### 条例

#### 秋田市議会委員会条例の 一部を改正

安全安心対策推進本部の廃止  
に伴い、総務委員会の所管を改  
めるため改正します。

- ・ 施行期日 公布の日から

#### 秋田市立学校授業料等徴 収条例の一部を改正

公立高等学校に係る授業料の  
不徴収及び高等学校等就学支援  
金の支給に関する法律の施行に  
伴い、授業料の不徴収に関する  
規定を整備するとともに、授業  
料の納期限の特例について定め  
るため改正します。

- ・ 施行期日 公布の日から。改

正後の条例の規定は、22年4  
月分の授業料から適用する旨  
の経過措置を規定します。

#### 秋田市児童館条例の一部 を改正

藤倉児童館と河辺中央児童館  
を廃止するため改正します。

- ・ 施行期日 22年7月1日から

### 人事

#### 固定資産評価員

石塚 博史氏（新任）

#### 人権擁護委員

佐々木 治右門氏（新任）

### 請願・陳情の結果について

#### 不採択

陳情 防災・生活関連予算の拡充と国土交通  
省の地方出先機関の存続等に関する意  
見書の提出について

#### 継続審査

請願 J R 追分駅駐輪場の整備について

陳情 中通一丁目地区市街地再開発による仲  
小路の直線街並み分断中止について

陳情 秋田市土崎国道7号下水道本管改修工  
事の緊急施工について

陳情 秋田市文化会館と中央公民館の運営  
（活動拠点）の正常化について

陳情 牛島児童館の移設について

# 聞きました

市政全般にわたり、  
7人の議員が質問しました。

本会議での質問者順に、質問項目および  
主な質問と答弁の要旨を掲載しています。

## 秋水会 熊谷重隆

◇市長の市政運営◇行財政改革の推進◇教育行政◇過疎地域自立促進特別措置法に基づく積極的な事業展開

### 遺跡発掘調査の出土品を 展示する施設の整備を

**問** 史跡と出土品を一体的に展示することができるよう、地蔵田遺跡に資料館等を整備するなど、市民が出土品に触れ合うことができる展示施設を整備すべきではありませんか。

**答** 地蔵田遺跡では、13年度から市民協働による復元整備や活用事業を通して、史跡の魅力を広げ発信してきました。しかし、出土品を公開・展示し、市民の郷土学習の場や観光資源とする展示機能は、十分とは言えない状況であり、その拠点となる施設の整備については、さまざまな観点から検討していきます。



地蔵田遺跡での弥生っこ村まつり

## 学校のトイレのバリアフリー化を

**問** 災害時における避難施設としての利用や学校の地域への開放を推進する観点から、小中学校のトイレを洋式にするなどのバリアフリー化を進めるべきではありませんか。

**答** 学校施設は、災害時には避難施設として利用されることから、これまでも大規模改修の際には、車いす対応のトイレや、洋式トイレの数を増やすなどの整備をしてきました。また、和式トイレを利用できない児童・生徒や保護者がいる場合は、新たにスロープ等を設置しています。今後も、トイレの整備に当たっては、児童・生徒のみならず、地域の方々の利用についても考慮していきます。

## 市民クラブ 菅原弘夫

◇産業振興、企業誘致の見通し◇成長戦略◇行財政改革◇都市内地域分権◇幼稚園と保育所の一元化◇子供の虐待への対応◇介護施設職員に対する研修等◇市立秋田総合病院

### 本市独自の住宅リフォーム 助成制度の創設を

**問** 経済の活性化を図るとともに、耐震補強等のリフォームにより市民の住環境の質が向上するよう、本市独自の住宅リフォーム助成制度を創設すべきではありませんか。

**答** 住宅投資が引き続き低迷している中、3月から県が実施している秋田県住宅リフォーム緊急支援事業は、住宅リフォームの需要喚起を促し、建設業をはじめ、関連業種にも一定の経済効果があるものと認識しています。本市としては、今後の経済状況、県や他都市の動向および本市の財政状況等を総合的に勘案しながら検討していきます。

## 市民サービスセンター整備後は 現公民館施設の有効活用を

**問** 緑あふれる新県都プランにおいて、平成23年から27年までの間に(仮称)南部市民サービスセンターを整備する計画となっていますが、同センターに南部公民館の機能を移転した場合、現在の公民館施設を有効活用し、児童館やコミュニティセンターとして整備すべきではありませんか。

**答** 南部地域の市民サービスセンターの整備方針は、今年度策定する次期総合計画の中で示される予定となっており、南部公民館の取り扱いについては、その整備方針との整合を図りながら関係部局と検討していきます。



南部公民館の事業風景

# 市政について

フォーラム21 小林一夫

◇市長の政治姿勢◇次期総合計画◇行財政改革の推進◇庁舎整備◇中通一丁目地区市街地再開発事業◇秋田市シルバー人材センター◇職員の接遇◇本市の管理する施設における禁煙、分煙◇飲酒運転の追放◇市長交際費◇教育行政

## 中通一丁目地区市街地再開発事業

### における近隣商店街への対応は

**問** 5月31日に開催された近隣商店街に対する説明会ではどのような意見・要望が出され、それらにどう対応していくのですか。

**答** 参加者からは、商業施設に関する周辺商業者への説明不足に対する指摘や、施設の動線計画等について意見・要望が出されています。これに対し、再開発組合では今後、事業の節目節目で説明会を開催するとともに、施設の動線計画等に関する意見・要望については可能な限り計画に反映するよう努めていくと回答したところです。

## 秋田市シルバー人材センターの

### 不祥事への対応の責任は

**問** 市の幹部は副理事長として、公金横領した同センター職員を懲戒処分すべきという考えを通すべきだったではありませんか。

**答** 同センター理事長から、職員の公金横領と退職届の受理について報告を受けた後、数回にわたる協議と臨時理事会において、社会通念上懲戒解雇が妥当であると主張しています。これまでの内部調査や市の監査報告などから、現時点でも懲戒解雇が妥当と考えており、処分については引き続き、理事長および他の理事と協議を重ねていきます。

社会・市民連合 宇佐美洋二郎

◇市長の政治姿勢◇フッ化物洗口事業◇新庁舎建設◇中通一丁目地区市街地再開発事業◇スポーツ施設の充実◇史跡秋田城跡の今後の整備方針とにぎわい創出

## 新庁舎建設に当たっては

### 取り組みは

**問** 新庁舎建設に当たっては、可能な限り地元業者を採用するとともに、建設までに公契約制度を導入すべきではありませんか。

**答** 本市発注の工事では、地元業者が施工可能で、入札に参加する業者数を確保できる場合、市内に本社があることを入札条件とし、地元業者者の受注機会の確保に努めており、新庁舎建設に際しても、地元業者の育成や地域の発展に繋がるよう意を用います。公契約制度の導入については、労働基準法等との整合性など、見極めなければならぬ課題もあることから、今後も公契約条例の制定を前提とし、国と他都市の動向を注視してまいります。

## スポーツ施設の充実を

**問** スポーツ王国秋田の復活を目指し、全天候型の多目的人工芝グラウンドを新設すべきではありませんか。

**答** 近年の人工芝グラウンドは、機能、安全性、維持管理の面において飛躍的に技術が進歩し、多くのスポーツ施設に導入されていますが、多額の設置経費が必要なほか、耐用年数も10年程度であるなどの課題があります。将来的には導入したいと考えていますが、老朽化が著しいスポーツ施設の改修も必要なことから、財政状況やスポーツを取り巻く環境を勘案しながら検討してまいります。

公明党秋田市議会 近江喜博

◇市長の政治姿勢◇本市財政の展望◇本市産業の活性化及び就労支援◇福祉行政◇教育問題

## 学童保育の現状は

**問** 学童保育の環境と保育内容はどのようになっていますか。また、夜間保育の現状と対策についてどのように考えているのですか。

**答** 本市では、児童センター、保育園等の29施設で学童保育を実施しており、専属の指導員が子どもたちの健康管理を行うとともに、集団での学習、遊びの指導を通して、基本的な生活習慣を身に付けられるよう取り組んでいます。また、夜間保育を行っている施設は、中央地域に多く設置されていますが、その他の地域の子どもも利用できる状況になっています。本市においては、保護者の多様な就業実態により学童保育の重要性は高まっており、今後も国のガイドラインに沿って実施してまいります。



放課後の学童保育

## 公明党秋田市議会 近江喜博

### がん患者等への就労支援策は

**問** がんや病気になる仕事は失うことは精神的、経済的にも厳しいことから、がん患者等への就労支援を実施すべきではありませんか。

**答** 秋田テルサ内の離職者緊急雇用相談センターにおいて、就労実務に関する相談等を健康者、傷病者を問わず行っているほか、NPO法人による難病相談・支援センターやハローワーク、各総合病院においても各種相談に応じています。今後も、傷病により離職を余儀なくされた方々から相談があった際には、労働関係機関等と連携を図り、適切な対応ができるよう相談業務を充実していきます。

## 秋水会 今川雄策

◇市長の政治姿勢◇職員の綱紀粛止◇教育行政◇秋田市健康づくりプラン「健康あきた市21」◇市民協働と都市内地域分権

### 永住外国人への地方参政権付与に対する見解は

**問** 国会に提出されようとしている永住外国人への地方参政権付与に関する法律について、慎重な対応を求めるべきではありませんか。

**答** 憲法第15条では、選挙権の主体を国民としており、最高裁判決等から、参政権を主張するならば、まずは帰化するべきとの意見がある一方、憲法第93条では、首長等の選挙権の主体を住民としており、永住外国人の地方参政権の否定は、地方自治の本旨に反するとの意見もあります。したがって、基本的な考え方について、国会や国民の間でさらに慎重、広範な議論が必要であると認識しています。

## 市民協働の推進を

**問** 市民協働の推進に当たっては、地域任せにするのではなく、行政が市民とともに汗を流して取り組むべきではありませんか。

**答** 市民協働は、今や住民自治の基盤であるところであり、市政の幅広い分野で取り入れています。今年度策定する次期総合計画では市民協働をすべての事務事業実施に必要な「計画推進に当たった視点」として盛り込むこととしており、さらなる広がりを期待しています。また、「お仕着せ」などと言われることのないよう、市との役割分担を明確にし、地域への説明に努め、浸透を図っていきます。今後とも元氣な秋田市をつくるため、これまで以上に市民協働を推進していきます。



市民協働による果樹の手入れ（泉地区ハミングロード）

## 秋水会 赤坂光一

◇都市の縮小◇都市間交流等◇防災対策◇教育問題◇秋田公立美術工芸短期大学◇公文書の管理と歴史的公文書等の管理・有効活用◇西部地区の諸課題

### 秋田公立美術工芸短期大学の4年制への移行は

**問** 市長公約で「4年制大学への移行」を掲げていますが、検討状況と今年度の検討内容はどのようになっていますか。

**答** 昨年6月に立ち上げた庁内の「4年制大学化検討チーム」において美短を取り巻く社会環境や美短の現状について実態把握等を行いました。今年度は、現在策定中の次期総合計画で成長戦略の重点プログラムとして盛り込む「芸術・文化によるまちづくり」を4大化の検討に連動させるとともに、美短の方向性を示していきます。

### 新屋地区における都市計画道路等の見直しは

**問** 新屋地区の長期未着手の都市計画道路と土地区画整理事業については、廃止も含めて見直しを検討すべきではありませんか。

**答** 都市計画道路については、県が策定した都市交通マスタープランで、交通量の将来的な減少を予想して見直しの方向性を示しており、新屋十軒町線、新屋浜田線の一部区間が廃止候補路線とされています。今後、地元住民との合意形成を図り、都市計画の決定権者である県と見直しについて協議します。また、土地区画整理事業の長期未着手地区については、引き続き県に対して計画決定の見直しを働きかけていきます。

# 常任委員会の審査から

6月定例会の各常任委員会で交わされた質疑応答の中から、主なものを掲載しています。

## 総務委員会

**問** 社会全体、職場全体で子育てを支援し、子どもに対する親の愛情がより一層増すとともに、子どもを産み育てたいと思う人が増えるような環境整備が必要と思いますが、職場により業務の状況が異なる中で、市職員が育児休業を取得しやすい体制をどのように構築するのですか。

**答** 業務量が多く、業務内容が過密な職場もありますが、そのことにかかわらず、育児休業を取得するよう推奨していきたいと考えています。また、このたびの秋田市職員の育児休業等に関する条例の改正においては、配偶者の就業の有無等の状況にかかわらず、育児休業を取得できるようにするとともに、男性職員については、出生から57日以内に一度取得した場合には、その後、特別な事由がなくても、再度、育児休業を取得できるようにしており、今後も、職員が子育てをしやすい職場環境を整備していきます。

## 厚生委員会

**問** 新エネルギー活用調査事業は、具体的にどのような調査を行うのですか。また、本調査において、市として重点的に取り組む項目は何ですか。

**答** 本事業は、市域における新エネルギー資源の賦存量を調査するとともに、事業化の可能性について検討を行うものであり、対象は、太陽光、風力、小水力を予定しています。太陽光については、実際に太陽光パネルを設置し、降雪による影響、本市に適した太陽光パネルの選定などの実証試験を行うほか、公共施設への導入の可能性や、未利用地における大規模な太陽光発電の活用可能性調査などを行います。また、重点的な取り組みとしては、太陽光発電が全国レベルに比べ導入が進んでいないことから、適切な実証試験を通して、本市でも十分に導入効果があることを、市民に見えるような形で示していきたいと考えています。

## 教育産業委員会

**問** 水田利活用緊急支援事業について、国の助成水準が大幅に低下する転作作物に対して、今年度限りの措置として、本市独自に助成するとのことですが、農政の先行きが不透明であり、転作の見通しが立たないという農家からの声があることをどのように認識しているのですか。また、このような時こそ、長期間にわたる、積極的な支援策を講じるべきではありませんか。

**答** 転作作物に対しては、先の2月定例会において、激変緩和策を講じるとしたことから、転作を不安視する声が少なくなっており、本市の施策に農家の一定の理解が得られているものと認識しています。国の政策が本市農業に与える影響は大きいですが、農業生産に占める野菜等の割合を向上させていくための施策などについて、今年度に見直し、策定する秋田市農林水産業・農村振興基本計画に盛り込んでいきます。

## 建設委員会

**問** 秋田市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正に当たり、都市計画の変更について、本年1月に開催した地元説明会の対象者の範囲および参加状況はどうなっていますか。

**答** 対象者は榎山石塚谷地区整備計画区域内の土地所有者と、隣接する町内会の方々です。当日の出席者は22人であり、都市計画の変更について特に意見は出されませんでした。

**問** 融雪施設改良事業について、新屋松美町朝日町線で融雪施設が設置されている箇所、勾配はどのくらいですか。また、電気代等、ランニングコストはどのくらいですか。

**答** 勾配については、最も急な箇所が約10%です。現施設での電気料金として、21年度は201万円ほどかかっています。

## 議会制度等研究会が 答申しました

議会のあり方について研究、検討している議会制度等研究会（委員6人）は、6月25日に、第二回目の答申をしました。

なお、諮問事項については、議会運営委員会等で協議した上で、見直しが具体的に進められます。答申の概要については、次のとおりです。

### ◎地方自治法第96条第2項の規定による追加議決事件について

議決事件の追加については、地方議会の権能の拡大の観点から重要な事項であり、執行権とのバランスに配慮しつつ中長期的な課題としてとらえ、地方自治法の改正の動向も踏まえながら、将来的に研究していくべきである。

### ◎陳情の審査・取り扱いについて

秋田市議会では、記載事項等に瑕疵のない陳情は、すべて受理し、原則として請願と同様に処理していることから、場合によっては、本市の事務に直接関係のない陳情も審査することとなり、効率的な委員会審査に影響を及ぼしている面がある。

また、陳情は住民からの要望等であり、市町村議会では当該行政範囲の住民からの陳情に一義的に対応すべきである。

以上のことから、県外から提出された陳情については、原則として、議員への写しの配付などにとどめることとするが、本市の行政や市民生活に密接にかかわり、重要な影響を及ぼすものについては、議長の判断により、会議に付すという取り扱いが適当である。

ケーブルテレビで  
議会中継を  
ご覧下さい

年4回開催される定例会の市長説明、代表・一般質問および答弁などについては秋田ケーブルテレビで生中継されています。また、インターネットでの録画映像配信も行っており、市議会ホームページからいつでも議会映像がご覧いただけます。

<http://www.city.akita.akita.jp/council/>



## 請願・陳情について

請願書・陳情書は趣旨を具体的に記載し、提出年月日、提出者（代表者）の住所を記載、氏名については署名または記名押印の上、定例会開会のおおむね3日前までに議長あてに提出してください。なお、請願書の場合には、紹介議員の署名または記名押印が必要となります。

## 市議会を 傍聴しませんか

傍聴する際、事前の申し込みは必要ありません。当日に簡単な手続を行うだけで、本会議と委員会を傍聴できます。

本会議の傍聴は、直接、議場へお越しください。受付では、交付日限り有効の傍聴券を交付します。

常任委員会の傍聴は、開会の1時間前から議会事務局で受付を行います。定員が20人となっており、開会の30分前に定員を超えた場合は抽選となります。

年に4回開催される定例会の日程予定や質問予定者については、開会の約2週間前に決定し、市議会ホームページに掲載して

います。また、市民課、土崎支所、西部市民サービスセンター、駅東サービスセンター、両市民センター、両連絡所、各地域センター、各公民館にポスターを掲示します。

6月定例会の本会議には、153人の傍聴がありました。議員の活動や市政の方向などを知るためにも、ぜひ傍聴においでください。

## 議会の動き

※議場は議場棟の2階、委員会室は1階にあります。

※請願・陳情および議会の日程や傍聴の手続などについて、ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせください。

電話（866）22333

5月10日	教育産業委員会 （閉会中）	6月1日	各派会長会議
11日	建設委員会（閉会中）	7日	6月定例会 （6月25日まで）
	総務委員会（閉会中）	25日	議会だより編集委員会
24日	議会運営委員会	7月12日	議会だより編集委員会
31日	厚生委員会（閉会中）	16日	教育産業委員会 （閉会中）
		23日	各派会長会議
		26日	厚生委員会行政視察 （～28日）
		27日	建設委員会行政視察 （～29日）
28日	総務委員会行政視察 （～30日）		

次回の定例会は  
9月の予定です